

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：体育振興費

事業名 地域クラブ指導者育成研修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 部活動改革係 電話番号：058-272-1111(内8718)

E-mail：c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,918 千円 (前年度予算額：1,090 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,090	0	0	0	0	0	0	0	1,090
要求額	1,918	0	0	0	0	0	0	0	1,918
決定額	1,918	0	0	0	0	0	0	0	1,918

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

部活動の活性化・充実及び、持続可能な部活動を実現するため、休日において部活動を新たな地域クラブ活動として実施できる環境を整える必要がある。

また、生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点から、「岐阜県中学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（R5.3）」を策定し、部活動及び新たな地域クラブ活動の適正化を推進している。

(2) 事業内容

休日の部活動の段階的な地域移行に伴う部活動の指導者育成研修事業

- ・地域クラブの指導者を育成し、移行に向けた環境を整備する。
- ・研修のテーマ
 - ◇指導方法等について
 - ◇部活動ガイドラインに沿った部活動の在り方
 - ◇スポーツ医科学

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県10/10
- ・持続可能な新たな地域クラブ活動を実現のため、県負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,918	人件費、研修講師謝金、旅費
合計	1,918	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ推進条例11条

第2期 ぎふスポーツ推進計画

第4次岐阜県教育ビジョン

基本方針4 「学びの多様なニーズに応える環境」の充実

目標24 地域と学校とが連携した望ましい部活動の推進

目標26 教職員が持つ力を最大限に発揮できる職場づくりの推進

(2) 国・他県の状況

- ・多くの県が、同様の事業実施を検討している

(3) 後年度の財政負担

- ・指導者の資質向上及び指導者確保のため県事業を継続

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・事業主体：県
- ・県の方針の主旨を踏まえた研修による指導者育成が必要なため妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域移行に関わって、不足するであろう教育的意義を理解した地域クラブ指導者を必要数確保するとともに、その後も最新の医科学の知識や効果的な指導方法を習得した指導者に地域クラブ活動の指導を行えるよう継続的に研修を実施する。

令和6年度末までに1800人の地域クラブ指導者を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①ライセンス取得指導者数	—	325人	800人	1800人	1800人	18%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %	
令和4年度	ライセンス取得指導者数(325名) ・325名のライセンス取得指導者を育成することができたが、本事業初年度であったため、業務委託先と連携し、本事業の周知に注力したことで、多くの地域クラブ指導者が受講することができた。
指標① 目標：1,800人 実績：325人 達成率：18 %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	部活動を地域に新たな形態で進めるためには、地域の指導者の育成、確保が不可欠であり、そのために本事業を大きく推進していく必要がある。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	3つの領域について専門的に研修を実施し、研修を終えた者にはライセンスを発行することになっており、県内指導者の画一的な資質向上を図ることができている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	3つの領域に関する研修会の開催を複数回設けていることから、より多くの希望者が受講できる体制にする必要がある。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 より多くの受講希望者に対応するための研修会開催回数の増加
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和6年度末までに1800人の地域クラブ指導者を育成するため、今年度の研修プログラムの見直しや、ライセンス取得を希望する受講希望者に対応するための研修会開催回数の増加等、子どもたちに持続可能な活動を提供するために、引き続き事業の継続を求める。
--